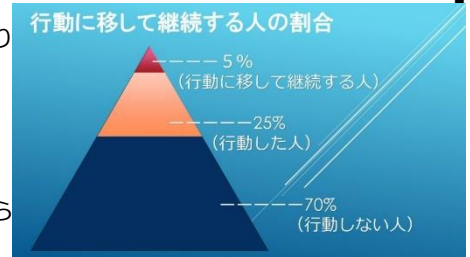


まずは「行動しない人」から抜け出そう

高3生の頑張る姿を見て、彼らが1, 2年生だったころを振り返る季節になりました。企業に係る導入支援などを行っている(株)FRUMEの記事によれば、良いアドバイスを耳にしても、実際に行動する人、さらにそれを継続する人は少ないようですが、これは皆さんにも当てはまることだと思います。



- **本を読もう/少し長めの記事を読もう**…共通テスト演習では、1年生の頃からたくさん本を読んでいる人の速読力に感心させられます。国語に限らず英語でも、文章を読み慣れている人は今読んだものを頭に留めておく retention(保持)力が強みとなって現れています。
- **校外のコンテストにチャレンジしよう**…進路説明会でも話しましたが、インターネットでちょっと検索すれば、世の中にはあらゆるジャンルのコンテストがあります。賞をとることに拘らず、まずは応募してみることに。どんな小さなチャレンジでも、あなたのストーリーを語るには十分な具体例となります。中身の推敲は学校の先生を頼ってください！
- **校内の活動には、「立候補」で参加しよう**…日常的なことでも行事でも、校内でやれることは何よりお手軽です。だからこそ、やらされてやるのではなく、あくまで「自分から」進んでやりましょう。
- **単語や公式の暗記をはじめよう**…小テストがあるからではなく、自分で毎日のノルマを決めて進めましょう。特に2年生のこの時期から始めた先輩は、3年生になってから効果を実感しています。
- **Classiの学習トレーニングを活用しよう**…塾にいない、受験勉強の仕方がわからない、そんな人はClassiを活用しましょう。過去に受けた模試レベルに合わせた復習や、場合によっては中学校まで遡ることも可能です。2年生は「情報I」の対策がすでにリリースされていますよ。連絡ツールで終わっているのはもったいない！
- **同レベル他大学の赤本を解こう**…この助言に素直に従った先輩が、本番で他大学と同じ文章がでたと興奮して帰ってきました。大学は違っても、その時々注目されるテーマは似ています。(文責：桑原)

♪3年の窓♪

「受験は団体戦」の真価が問われるとき 皆で希望進路の実現を！

先日、3年生にとって最後の定期考査が終了しました。今回の考査は、総合型選抜や学校推薦型選抜の入試と時期が重なり、対応が大変だった人もいたと思います。皆さん、しっかりやり遂げることができたでしょうか。各科目、振り返りをよく行い、課題と認識した箇所は時間をかけて克服し、次のステップへ進みましょう。

12月をむかえ、いよいよ、共通テストと一般選抜(一般入試)の時期が近づいてきました。先週から、3年生は共通テスト対策の特別編成授業(特編)の時間割となり、5教科の各科目で実践的な受験トレーニングが始まりました。一般選抜受験の人は、ここからの頑張りですさらに力がつきます。以前も書いたことですが、問題演習を行う度にPDCAサイクルを活用して、課題を1つずつ乗り越えていきましょう。また、来週の三者懇談では、希望進路実現のためにすべきことは何か、具体的に確認しましょう。勝負は、本当にここからです。まだまだ、力がつく時期です。心身の健康に気をつけて、励みましょう。

一般選抜に備える人がいる一方で、これまでに行われた入試に合格し、進路が決定した人もいます。合格、おめでとう。受験した本人が頑張ったことは勿論ですが、志望理由書や小論文、面接などの準備・対策でご支援をいただいた先生方や友人の力、日頃から家庭での生活をサポートしてくださっている保護者の方の力は小さくありません。感謝の気持ちと謙虚な姿勢を大切に、残りの学校生活、課題意識をもって、4月からの生活に備えた学びを実践してください。共通テストは、高校での学習の到達度や一般選抜で求められる力を確認する好機です。良い準備をして臨みましょう。

これも以前書いたことですが、「受験は団体戦」とよく言われます。現在、3年生の各クラスには、一般選抜に備えている人と既に進路を決めた人が一緒にいます。皆が真摯な気持ちで学習に向かい、互いに配慮した言動ができ、暖かくも厳しい学習空間をつくり、皆が希望進路を実現し、皆で明るく、卒業のときをむかえられるようになって欲しいと願っています。

もうすぐ冬休みです。体調に気をつけ、充実した時間を過ごしてください。受験準備が忙しい中にも、年末年始の移り行きを感じられる心のゆとりがもてると良いと思います。やるときはやる、休むときは休む、のメリハリを大切に。(文責 石田)

『2年の窓』

人知れず努力するとは？

直木賞作家の佐藤正午の作品に「取り扱い注意」(角川文庫)という小説があります。スクランブル(クロスワードパズルのような升目にアルファベットを入れて英単語を作るゲーム)が得意な県庁に勤める主人公が、現金輸送車から強盗を企てるというあらすじで、つまり内容的には決しておススメできるものではないのですが、所々に英語表現が出てきます。最初の方こそ、

「…英語の直訳風に言えば『夜はまだ若く』別に急ぐ理由もなかったし…」(P.93)

(↑英語で、宵の口、まだ夜が更けていないことを“The night is still young.”と言います。)

と説明してくれますが、

「その台詞を聞いたら猫だって笑うでしょうね。」(P.113)

(↑英語で、(猫が笑うほど)途方もなく滑稽なことを“enough to make a cat laugh”と言います。)

「うん、持ってない、一枚もない、あたしの持駒は教会の鼠みたいに貧しいの」(P.114)

(↑英語で、(教会のネズミのように)ひどく貧しいことを“(as) poor as a church mouse”と言います。)

と説明なしで英語表現をもとにした言い回しが出てきます。果たして何人の読者が気づいてくれるでしょうか。誰も気づかないかもしれないけれど、スクランブルという英語を使ったゲームに絡めて、英語表現をちりばめるといふ、これも筆者の見えない努力だと思います。

もうすぐ冬休みに入り、一人で自由に過ごせる時間が増えると思います。そんな時こそ、人知れずに学習に励んでみませんか。その努力の成果がきっと来年、実を結ぶと思います。それでは、まだ早いですが

(The night is still young.)、良い新年をお迎えください。

(文責：塩原)

『1年の窓』

思いは伝わる

3回目の定期考査が終わり、気づけば12月も半ば過ぎです。多治高生活は、充実したものになっていますか？新年を迎える前に、この1年の成果と課題をキャリアノートに書きだして、記録しておきましょう。人間は良くも悪くも「忘れる生き物」です。自分にとって良かったことは自信に変え、こうしておけば良かったと思ったことは、次に活かしていけば、どんな経験も自分を成長させてくれる糧となるはずですよ。

中国の思想家である孔子は、「過而不改、是謂過矣。」(過失を犯して、そのままにしておくことがほんとうの過失というものだ。)と残しています。失敗や後悔をしない人はいません。その時に、どのように行動するかで、その後の結果が大きく変わります。来年1月には13日に進研模試、20日英検、21日に希望者模試があり、2月には学年末考査も控えています。思ったよりも時間はありません。新年から気持ちよくスタートダッシュを切れるように、また自分にとって実り多い1年になるように、振り返り、大まかで良いので計画をたてることを始めてみませんか？

さて、いよいよ三者懇談の日が迫ってきました。皆さんには以前書き上げてもらった「セルフプロデュースノート」を活用し、自分が考えている進路についてプレゼンをしてもらう予定です。自分の「思い」を、「自分の言葉」で語る良い機会と捉えてもらえればと思います。「上手に伝えないと」と構える必要は決してなく、思いがあれば必ず伝わります。また、まだ文理は明確に決定したけれど、自分がどのような学部学科に進むかを決めかねている人もいます。その不安な気持ちも正直に打ち明けてください。対話という言葉と心のキャッチボールをしなければ、お互いの思い、考え、気持ちは伝わりません。ぜひ対話をしましょう。

最後になりますが、人生は選択の連続です。他人任せにしたり、流されて適当に決めたりすることがないようにしましょう。自分で決めて、行動していきましょう。あなたの人生の主人公は、あなたなのでありますから。

(文責：吉田)